

持続可能な社会の形成に向けた、 内外の多様な主体をつなぐ 「場の教育」ネットワークの構築

〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町2-5-16-4階
電話: 03-5294-1441
E-mail: info@ecoplus.jp
http://www.ecoplus.jp/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



幅広い参加者が集まった国際シンポジウム

シンポジウム参加者数

75人

報告書・ブックレットの発行

1,000部

今年度計画の達成度

88%

活動の全体目標に対する達成度

90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

最先端の専門家のみならず、委員会を構成して事業の運営にあたったが、多忙な方たちばかりで、日程調整が大変だった。

■ 工夫した点

出来るだけ早くからの日程確保に努めたほか、オンラインでのメールなどを使った意見交換を積極的に活用した。

課題

環境・野外教育や、企業の社会貢献、地域おこしなど多様な角度から語られることが増えてきた「場」や「地域」について、さまざまな主体が議論を深める場がほとんどない。

目標

「場の教育」に関わる団体と個人のネットワークを形成し、継続して情報交換ができる仕組みを構築し、事例を共有して議論を深められる基盤を作る。

活動内容と成果

専門家による視察と議論を積み重ね、「場の教育」に関する基本的な考えを整理した。参考となる内外の事例100を収集し、共有出来る仕組みを構築した。インドからの専門家と共に、北海道から沖縄までの、環境教育、ESD、SDGs、地域おこしなどに関わる人々で意見を交換する国際シンポジウムを実施した。シンポジウムの報告書を作成し、関係先に配付したほか、これまでの議論を整理し「場の教育」を分かりやすく説明する小冊子を作成し配付した。これらにより「場の教育」を発展させてゆく基盤が整備された。



パネル討議では会場の若者も次々に発言。

全助成期間の活動を振り返って

これまでばらばらに取り組まれてきた「地域」や「場」をめぐる学びの議論を、ひとつの場所で積み重ねることができたのは、大きな成果であったと思う。野外・環境教育、ESD、地域おこしなどのさまざまな分野のみなさんから、見通しのいい議論が出来た、今後も継続して欲しいとの声を得て、うれしく思っている。



沖縄西表島を視察し、関係者に聞き取り。

今後の展望

いったんこれまでの活動形態を休止して、専門家のみなさまの声を元に、再出発しようと考えている。各方面からの期待があるので、海外の専門家との橋渡しも継続する予定。SDGsなど大きな動きに対応する足元からの学びづくりを進める。